

## 【使徒の働き 22 章】

「主よ。私はどうしたらよいのでしょうか。」

「起きて、ダマスコにいきなさい。」(22:10)

### Message

パウロが殺されかけたとき、弁明するチャンスを与えられ、語った言葉です。

かつてパウロが殺意に燃え、「その道の者」すなわちクリスチャンを捕らえ処罰する為に、ダマスコに行こうとしていました。ところが、天からの光に照らされて、神に打たれ地に倒れてしまい、目が見えなくなりました。復活のイエス・キリストに出会ったので

す！クリスチャンを迫害することは、実はイエス・キリストを迫害することだと知らされ、今までの人生を全くくつがえされるような出来事に出会ったのです。「サウロ、サウロ(ユダヤ名 後にパウロと呼ばれる。パウロはローマ名)なぜ私を迫害するのか。」「主よ。あなたはどなたですか。」「私はあなたが迫害しているナザレのイエスだ。」このような会話が交わされました。一緒にいた人はその光は見たのですが、その声はハッキリ聞き分けられなかったのです。「主よ。私はどうしたらよいのでしょうか。」パウロは声の主に見えませんでした。(パウロの回心劇。これは聖書に3回も載っています。9,22,26章)

私たちの人生も、一生懸命やっていたことが的外れであることがわかり、間違っていることを指摘され、一体どうすればよいのか途方にくれるというようなことがあるでしょう。パウロはその時、「起きて、ダマスコにいきなさい。」とみ声を聞きます。「あなたがするように決められていることはみな、そこで告げられる。」そうです。起き上がって、主の示されるところに行くのです。パウロが自分の考えで、目が見えないので、目医者に行っていたら、あのパウロはいないのです。神様の指示に従い、一つ一つクリアしていくことによって、神様のご計画が一つ一つ開かれていきます。

私たちの「ダマスコ」とはなにでしょうか？ある人にとっては礼拝に来ることであり、ある人にとっては、パトモスや白馬キャンプに行くことかもしれません。その人によって語りかけは違うでしょう。神様は分かるように語り掛けてくださいます。パウロはダマスコにおいて、神様が用意されていたアナニヤによって目が開かれ、罪を悔い改め、洗礼を受けました。そして「異邦人に遣わす」と語られたという弁明をしました。騒ぎ立てていた人々はパウロの証しを聞いたのです。

 TLCCC FRH

(天に登録されている長子たちの教会)

Church of the **Firstborn** who are **Registered in Heaven**

主任牧師：イエス・キリスト 牧師：ダニエル大重

## SHIROAM

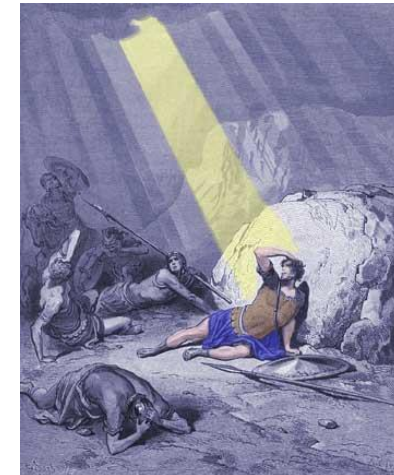
【遣わされた者】

2011.6.26 No.637

神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。

ヨハネ 6 : 29

Picture



Tel&Fax: 048-689-0048

皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center